

刀剣博物館だより(22)

「刀剣乱舞」イベント出展報告

昨今、メディア界を「刀剣女子」「刀剣女子」といった言葉が「乱舞」していることは、皆さんご承知かと思えます。これはオンラインゲーム、その名も「刀剣乱舞」によるもので、このゲームは、名刀を刀剣男子(イケメン)と呼ばれるキャラクターに擬人化したものです。本年一月のサービス開始から、既に百万人以上が登録し、現在十代

三十代の女性に大変人気があり、それに伴って刀剣博物館の入館者の様相も大きく変わってきました。このゲームを主題としたイベントが、五月五日(祝)、東京ビックサイトで開催されました。「刀剣乱舞」オンラインイベント」です。

このイベントに、刀剣博物館も企業ブースを出展し、当館の広報活動や作

刀文化の周知活動を行いました。今回のイベントは、「刀剣乱舞」の同人誌のみを取り扱うもので、販売するスペースが四千余と国内最大規模であり、若い世代の方に日本刀を知ってもらう絶好の機会と捉え、出展の運びとなりました。

出展にあたり、ゲーム上でも登場する「玉鋼」がどんなものなのか、刀がどのような工程で作られているか、さらに現代もなお伝統文化を継承している刀鍛冶の存在を知ってもらうこと、これをテーマとしました。

◇テーマをふまえた出展内容
・ 刀剣博物館のリーフレット配布
・ 玉鋼および作刀工程のパネル展示
・ 書籍、玉鋼等の販売
・ 現代刀匠の石田國壽、高橋恒厳両氏による銘切プレート実演販売

当日は入場するまで長蛇の列が起きるほどで、来場者は延べ二万四千人を超える盛況ぶりでした。宣伝の幟も奏功し、喜ばしいことに刀剣博物館の出展ブースにも多数の熱き来場がありました。

玉鋼を手にとっての観察、学芸員や刀匠への質問などなど、日本刀をめぐる「今の温度」はかなりの高温です。実在する日本刀に興味をもってもらいたいきっかけになったのでは、と感じています。

若い世代の方に日本刀の美しさ・素晴らしさをより身近に感じてもらう、愛刀家になっていただけるよう、今後も更なる広報活動に傾注して参ります。

総務部 村越・清水
学芸部 石井・黒滝・宮島・小菅・武田

写真提供・トム岸田



現代刀匠による銘切実演